

NEWS

水戸医療センター広報誌

vol.102

2025.4

特集

初期研修医の臨床研修修了式が
盛大に開催されました
スプリングインターンシップを開催しました



4月に入職した新人看護師達

診療科紹介

救急科とはどんな診療科ですか？
救急科医長 堤 悠介

Doctor's Interview

放射線治療科医師
大川 綾子

- 地域の医療機関のご紹介
- 診療科各科担当一覧表



独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター

TEL 029-240-7711

FAX 029-240-7788

〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280番地

<https://mito.hosp.go.jp/>



初期研修医の臨床研修修了式が盛大に開催されました

教育研修部長 小泉 智三



日ごろから初期研修医の教育にご協力いただいている患者様には、心より感謝申し上げます。患者様のご理解とご協力のおかげで、研修医たちは多くの貴重な経験を積むことができ、医師としての成長を遂げることができました。これからも、より良い医療を提供できるよう努力してまいりますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。今回、初期研修医の臨床研修修了式の様子をご紹介します。



3月某日、当院初の試みとして、初期研修医の臨床研修了式がホテルで開催されました。これまで病院内のカンファレンスルームで行っていたこぢんまりとした式典とは一線を画し、華やかで温かい雰囲気の中での修了式となりました。この日は、初期研修を無事修了した医師たちにとって、2年間の道のりを振り返る特別な日です。院長先生の心温まる挨拶で式は始まり、研修医一人一人が修了証を受け取りながら、自身の成長とこれからの医師としての責任を感じました。各研修医は、修了の喜びと感謝の気持ちを込めた挨拶を行い、会場は感動的な雰囲気に包まれました。また、司会を担当された先生は、

ユーモアたっぷりの進行で会場を盛り上げ、楽しい雰囲気が続きました。さらに、修了する研修医だけでなく、1年目の研修医も参加しており、先輩たちの姿を見て自分の未来に思いを馳せていた様子が印象的でした。式の最後には、全員で記念撮影を行い、盛大に式が締めくくられました。

この修了式は、初期研修医のこれまでの努力を称え、今後の活躍を応援する大切な時間となりました。新たな一歩を踏み出した研修医たちが、これからも患者さんのために成長し続けることを心から願っています。



循環器内科医師 安部 悠人

2025年4月より循環器内科医師として着任いたしました安部悠人と申します。筑波大学を卒業後、茨城県内外の基幹病院・関連病院で研鑽を積んできました。今回5年半ぶりに水戸医療センターに戻ってきました。狭心症や心不全、不整脈といった循環器疾患だけでなく、内科全般の診療を行っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

血液内科医師 服部 聡

今年度から血液内科で勤務させていただくことになりました服部聡と申します。患者さんに寄り添った診療を心がけます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

呼吸器外科医師 中岡 浩二郎

呼吸器外科の中岡と申します。以前は茨城県立中央病院で働いておりましたが、2025年4月から水戸医療センターに着任しました。水戸地域の医療に貢献できるよう尽力してまいります。よろしくお願ひ致します。

外科医師 針替 研太

4月より勤務させていただきます。水戸医療センターは初めてなので、システムに早く慣れて、皆さんの力になれるよう頑張ります。よろしくお願ひ致します。

専攻医 本多 美文

かつて雲の上の存在だった水戸医療センター、その一員として今ここにいます。嬉し涙にはNaもKも含まれていましたが、いまは何よりも血球成分に満ちた日々が胸が高鳴っています。かつて病棟で赤沈を見かけるたび、「ここで働く日が来るのだろうか」と静かに思いを馳せていた日々が、ようやく現実になりました。これまではKを正常範囲に保つことに命をかけてきましたが、これからは白血球分画に心を委ねる覚悟です。「そもそも血液って……何色だったけ？」という根本的な問いと向き合いながら、骨髄と静かに会話していく所存です。

専攻医 中山 貴文

今年度より水戸医療センターに赴任することになりました、整形外科1年目の中山貴文と申します。至らない点が多々あると思いますが、患者さんを第一に考えて日々の診療にあたっていきます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

専攻医 井出 成哉

形成外科の井出と申します。二年ほど前に水戸医療センターで研修させて頂きました。また戻ってくることができ非常に嬉しく思います。真摯に取り組みますのでどうぞ宜しく御願ひ致します。

循環器内科医師 宇佐美 恭平

虚血性心疾患を中心に茨城県内で診療に従事してまいりました。県中央地域の皆様のお役に立てるよう精進いたしますのでよろしくお願ひします。

呼吸器内科医師 岡田 悠太

呼吸器内科医師の岡田と申します。丁寧な診療を心がけてきます。

血液内科医師 橋川 諒

微力を尽くして診療を行います。よろしくお願ひします。

乳腺外科医師 濱岡 武

この度乳腺外科に赴任いたしました、濱岡 武と申します。コミュニケーションを重視して明るく楽しく安全な診療を心掛けて参りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

泌尿器科医師 青山 有

秋田から赴任いたしました。地域の皆様へ良質な医療を提供できるよう、尽力してまいります。よろしくお願ひいたします。

専攻医 尾高 克典

この度水戸医療センターに赴任いたしました、医師3年目の尾高克典と申します。精一杯診療にあたりますのでよろしくお願ひします。

専攻医 高橋 優太

丁寧な診療を心がけます。よろしくお願ひします。

専攻医 大曾根 礼

消化器内科専攻医の大曾根礼と申します。地域の皆様のお役に立てるよう尽力して参ります。よろしくお願ひいたします。

専攻医 和田 亮一郎

精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

専攻医 根岸 遼

脳神経外科領域の急性期や検査・手術で入院される患者さんにより良い治療やサポートができるよう、皆様と協力していければと思います。病棟での困り事や方針に関わること、疾患のご相談など、お気軽にお声がけいただけると幸いです。よろしくお願ひいたします。



専攻医 保田 彩花

このたび着任いたしました、泌尿器科専攻医3年目の保田彩花と申します。昨年度はつくばセントラル病院および筑波学園病院に勤務しておりました。丁寧で分かりやすい医療の提供を心がけ、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。水戸は初めての土地ですので、ぜひ美味しいお食事処など教えていただきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修医（1年目）高橋 朋幹

富山大学から来ました。高橋朋幹です。水戸医療センターでは、外科、内科、救急と幅広く学ばせていただきたいと考えております。趣味が釣りなので、もし同じ趣味の方がいらっしゃったらぜひお声がけください！不慣れな点が多く、最初にご迷惑をお掛けすると思いますが、精一杯頑張るので何卒宜しくお願い致します。

臨床研修医（1年目）片桐 駿

4月から初期研修医1年目となりました。片桐駿と申します。東京は府中で生まれ育ち、金沢大学での6年を経て関東へと戻って参りました。久々の太平洋側の空気を感じながら、医師として1日1日勉強していきたいと思っております。

臨床研修医（1年目）木名瀬 晴基

18年間を水戸で過ごしたのち東京の大学で医学部を卒業し、6年ぶりに水戸に帰ってまいりました。精一杯頑張ります。是非よろしくお願い致します。

臨床研修医（1年目）相澤 未有

2年間研修させていただきます、筑波大学出身の相澤未有です。埼玉県出身ですが、全国地域枠のため茨城県で今後も働く予定です。大学では6年間水泳部に入っていて、長距離を泳ぐのが好きです。初めての研修でたくさんご迷惑をおかけすると思いますが、最後まで粘り強く頑張ります。2年間どうぞよろしくお願い致します。

臨床研修医（1年目）小林 紋大

私は筑波大学附属病院から半年間だけ水戸医療センターにてお世話になります。ここでは、common diseaseから専門性の高い疾患までも幅広く扱っています。なるべく多くの症例や手技を経験して、自分の物にしていきたいと考えております。半年間と短い期間ですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

臨床研修医（2年目）河本 万優子

筑波大学附属病院から参りました、初期研修医2年目の河本万優子です。1年目はリハビリテーション科、整形外科、皮膚科、内科を研修しました。当院では、4月から3ヶ月間救急科で研修いたします。手技やプレゼンなどのスキルを確実にし、救急初療と集中治療管理を理解し実践できるよう努めて参ります。よろしくお願い致します。

専攻医 松永 拓也

今年度から赴任してまいりました松永です。皆様が安心して治療に望めるようにサポートさせていただきます。

専攻医 折笠 陽風

筑波大学附属病院救急集中治療科、後期研修医2年目の折笠陽風と申します。半年間と短い間ですが、皆様よろしくお願い致します。

臨床研修医（1年目）森 勇太郎

国立病院機構水戸医療センターで研修させていただく森勇太郎です。出身は千葉県の我孫子で、卒業大学は獨協医科大学です。医師としても社会人としてもまだまだ未熟で至らぬ点があると思いますが、初期研修の2年間1日1日を大切に精一杯頑張りたいと思っております。よろしくお願い致します。

臨床研修医（1年目）松岡 成久

これからお世話になります。東北医科薬科大学出身の松岡成久です。大学時代は水泳部とスキー部に所属しておりました。この2年間のできる限り多くのことを学び、一廉の医師になれるよう精進いたしますので、ぜひご指導ご鞭撻の方よろしくお願い致します。

臨床研修医（1年目）大和田 愛理

滋賀医科大学出身の大和田愛理と申します。4月から初期研修医として2年間お世話になります。至らぬ点多々あるかと思いますが、早く慣れて患者さんや職員の皆様のお力になれるように日々精進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

臨床研修医（1年目）合田 大輝

この春から初期研修をさせていただきます、筑波大学出身の合田大輝と申します。私の趣味は幼少期から続けているサッカーです。大学でも医学サッカー部で練習に明け暮れる6年間を送りました。サッカーで培った体力、継続力は人一倍であると自負しております。まだまだ分からないことや不安もありますが、短い初期研修の中で多くのことを学べるよう、必死に食らいついていきたいと思っております。

臨床研修医（1年目）横溝 貴史

半年間当センターで研修をさせて頂くことになりました、臨床研修医1年目の横溝貴史と申します。短い期間ですが、様々なことを吸収したいと思っております。一職員として貢献できるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

救急科とはどんな診療科ですか？

救急科医長 堤 悠介

救急科は救命救急センターを中心的に運営する診療科であり、主に救急車で搬送された方の初期診療や集中治療を担当しています。



当院は茨城県中央部(県央)の三次救急医療施設(救命救急センター)として、生命の危機に瀕している重症の救急患者さんを24時間体制で受け入れています。当院救命救急センターは茨城県で最も歴史のある救命救急センターであり、昭和56年4月に開設されました。そのため全国的にもかなり早い時期に開設された救命救急センターの一つといえます。その後今日に至るまで地域の救急医療に従事し、この間、全国各地の救急科より救急医の外科研修を受け入れてきました。当院で研修された救急医たちはその後多数の大学教授を含め全国各地の救急医療の中核となる人材に成長しています。

救急科はその救命救急センターを中心となって運営する診療科であり、重症外傷・腹部救急疾患・循環器疾患・脳卒中など重症救急疾患に対応してきました。救急科は、他の診療科と連携して、こうした重症患者さんの初期治療にあたっています。他科との連携は極めて良好で、365日24時間大半の科で夜中でもオンコール体制で専門医が診察させていただき体制が整っています。対象となるのは主に消防・救急隊からの直接依頼による救急車来院の患者さんで、現場で重症と考えられる場合を中心に年間約3000件の救急車を受け入れています。また他の医院や診療所、一次・二次救急指定病院からの紹介の患者さんも担当しています。



さらに平成22年7月より茨城県ドクターヘリの
基地病院の1つとして、県単位での救急医療の充
実に貢献しています。当院でのドクターヘリ担当
日以外の日には茨城町消防本部さんと共同でワー
クステーション方式のドクターカーも運営してお
り（平日8:30-17:15）、病院前救急診療にも力
を入れています。また災害医療も担っており茨城県
における基幹災害拠点病院であり、県災害医療コ
ーディネーターも当科スタッフが担っています。

現在はスタッフ6名（その内救急科指導医1名、
専門医4名）、専修医1名ですが、当院の特徴と
してサブスペシャリティ領域の専門医も保持して
いる者が大半で、外科、脳外科、放射線科などの
専門医にも認定されています。救急初療室には、
各種医療機器に加えて、レントゲン撮影装置や小
手術が行える設備があり、専従の看護師も配置さ
れています。また初療室に隣接してCT、MRIがあ
り24時間365日使用することができます。救命救

急センターの病床数は、合計で30床です。重症患
者さんの嚴重な全身管理のためのオープンベッド
6床、ICUに準じた設備の重症個室7床、やや症状
の軽快された患者さんのための4人床4部屋、無菌
クリーンルーム1床、脳死判定部屋1部屋などが
あります。また救命センター満床の際も、重症患者
さんについては可能な限り当院で受け入れ、初期
治療や蘇生処置を行った上で他院に転送する方針
をとっています。

このように救急科および救命救急センターは県
央から県北までの病院の中で、最後の砦としての
役割を果たしています。当院救急科・救命救急セ
ンターは24時間365日、重症救急患者さんに対応
できる体制を整えております。地域医療の最後の
砦として、皆様の命と健康を守るため、今後も全
力で取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願
い申し上げます。

Doctor's Interview

放射線治療科医師

大川 綾子

日本放射線腫瘍学会 放射線治療専門医
日本医学放射線学会 放射線科認定医、指導者
日本がん治療認定医
日本医師会認定産業医



Q1 先生の得意とする疾患を教えてください。

大川Dr：放射線治療全般、なるべく対応できるよう心掛けております。なお、設備等より他施設の方が望ましいケースもあり、そのような場合もご助言できましたら幸いです。

Q2 紹介して頂く際にこんな症状が出たらすぐ紹介してくださいなど、紹介時の着眼点などはありますか？

大川Dr：特に緊急照射の適応がある骨転移による脊髄圧迫、上大静脈症候群等の場合や、疼痛等の症状緩和目標の際は、治療効果の点からも早めにご連絡・ご相談頂けましたら幸いです（他の治療対応がより望ましい場合もございます。また全身状態等状況によって、各科を通して頂く必要があるケースがございます）。

Q3

症状が落ち付いて、開業医の先生方にご紹介する際に気を付けている事などありますか？

大川Dr：放射線治療の副作用は、終了後次第に改善される急性期のものと、しばらく経って発症することがまれにある晩期のものがあり、患者様に留意頂きたい点はスタッフ皆で繰り返しご説明し、ご心配・ご不明な点等のご連絡・ご相談頂くようお話をしております。

Q4

ご紹介して欲しい症例などありますか？

大川Dr：放射線治療の適応について迷われる場合、事前にご相談を頂けたら幸いです。また各ご施設で施行された画像・病理組織等の検査データのご提供が治療時非常に重要でありますので、引き続きのご協力を何卒よろしくお願い致します。

インタビューは以上になります。ありがとうございました。



スプリングインターンシップを開催しました

教育担当看護師長 村上 廣野

当院では、看護体験や看護師との対話を通して職場環境や雰囲気を知り、働く自分をイメージすることを目的に、看護学生を対象としたインターンシップを春と夏に開催しています。インターンシップでは、①病院・看護部の概況と教育体制の説明、②病棟体験、③意見交換会、④院内や宿舎の見学会を行っています。

今回のスプリングインターンシップは、3月18・21・24・25日の4日間で実施し、26名が参加してくれました。病院・看護部の概況と教育体制の説明では、当院の機能や役割、看護の特徴、新人看護師の教育体制についてお話をしています。看護部長の「楽しんで色々経験してほしい」との声かけを受け、病棟体験では、病棟看護師の業務を見学したり、入院患者さんへの看護を体験してもらいました。食事や清潔ケア等の援助、患者・家族とのコミュニ

ケーション場面や看護師同士の連携等の実際を体験してもらいました。意見交換会では経験を共有することができ、先輩看護師に疑問に思っていることを気軽に聞く機会となったようです。体験を通しての感想や積極的に質問を受けることができました。実際に働いているからこそ伝えられる当院の魅力や看護現場の実状、看護師として働くためのアドバイス等にお答えすることができたと思います。

インターンシップを終えた参加者からは、「良い経験ができました」「働くイメージができました」「インターンシップに参加して、水戸医療センターを第一志望にしたいと思えました」等の嬉しい感想をもらいました。当院で一緒に働きたいと思ってもらえるよう、今後もインターンシップを通して当院の魅力や看護の楽しさ、やりがいなどを伝えていきたいと思います。





認知症ケアで 大切にしたいこと

看護部 認知症看護認定看護師 橋本 真紀

認知症看護認定看護師とは、認知症の方とご家族を支援する看護師です。

認知症は、記憶障害だけではなく、行動や心理面に様々な症状が現れる複雑な疾患です。

当院では、院内活動と院外活動として地域の皆様の知識を深めていただく「出前講座」や「医療従事者セミナー」を通じて、認知症に関する理解を深め、よりよいケアを提供するための取り組みを行っています。

院内では、認知症ケアチームの一員として医師や病棟看護師、退院調整看護師、メディカルソーシャルワーカー、薬剤師、リハビリスタッフなど、多職種と連携しながら、入院患者様の認知機能評価、せん妄対策、日常生活援助、精神症状、事故防止への対応など行い、患者様の人権を尊重したケアの実現を目指しています。

院外活動の「出前講座」では、認知症の基本的な情報を提供するとともに、認知症の予防や早期発見の重要性についてもチェックリストを活用し



ながら解説しています。介護のコツやご家族の精神的なケアなど、アドバイスを提供することで、参加者の不安や悩みを軽減し、前向きな気持ちで認知症ケアに取り組めるようサポートしています。

認知症ケアに携わり思うことは、患者様の言葉に耳を傾ける大切さです。患者様は言葉で上手く表現できないこともあります。しかし、表情や身振り手振りなど、様々な方法で私たちにメッセージを送っています。患者様の言葉だけでなく、非言語的なサインにも注意を払い、丁寧に耳を傾ける事が大切だということです。焦らず、ゆっくりと、患者様のペースに合わせてコミュニケーションを図ることは、看護の基本でもあります。

今後も、認知症看護認定看護師として、院内外での活動を通して、認知症患者様とご家族が安心して生活できる社会の実現に貢献できるよう、精進してまいります。





医療相談室・がん相談支援センターです

医療ソーシャルワーカー 菊池 愛子

水戸医療センターには昔から「医療相談室」があり、患者様・ご家族様の様々なご相談に対応してまいりました。病院だけでなく相談室も現在の医療の流れに沿うように変遷をたどり、平成21年4月からは茨城県がん診療指定病院として指定を受けたことを起点としてがん相談にも積極的関わる体制を整えました。さらに平成23年からは地域がん診療連携拠点病院として指定されたことから、現在の「医療相談室・がん相談支援センター」の名称となりました。

現在4名の医療ソーシャルワーカーが在籍しておりますが、相談内容によっては地域医療連携センターの看護部門とも協力しあいながら対応しているところです。

主な相談としては、医療費の相談・心理相談・療養先の相談・利用できる制度の相談などが多く



なっております。制度は複雑ですし、周りからいろいろ言われて混乱することもあるでしょう。病気の悩みや困りごとを聞いてほしくても誰にも相談できないとお困りの方もいらっしゃると思います。

基本的によろず相談の窓口ですので「こんなこと相談していいのかしら…」などご心配なさらずお気軽にご利用ください。すべての事柄を解決できるわけではありませんが、病気に対する理解を助ける・問題解決の糸口を探す・正しい情報を提供する・心理的に支えることで、皆様のご心配が少しでも解決できるようにお手伝いできたらと思っています。



講演会のお知らせを掲示したり、各種パンフレットなども準備しております。



当院との医療連携登録医療機関

地域の医療機関のご紹介



医療法人社団ひまわり会 あかつか慶友メディカルクリニック

院長 堂脇 慎一

院長挨拶

ちょっと寄れる良い医療。
クリニックの役割は、大病院と個人をつなぐ医療の架け橋です。
その為にはわかりやすい診察・診療が不可欠と考えています。
お互い納得できれば不安も少なく協力関係も深まり、治療成績も向上するのではないのでしょうか。



当院は交通事故の治療にも力を入れています。



アクセス
(公式ホームページ)

【診療科目】

整形外科
リハビリテーション科
医療脱毛

[住所] 茨城県水戸市
河和田町4777-1
[電話] 029-257-2205



治療方針

- お約束1** 医療技術を駆使し、患者様の治療にあたります。
- お約束2** 様々な治療法を考慮し、その中で最も合う治療法をご提案いたします。
- お約束3** 患者様自身が「やりたいこと」「したいこと」はどんどん行ってください。万が一それで症状が悪化しても、全力で治療いたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
整形外科 9:15~13:00 15:00~18:00	○	○	休	○	○	◎※	休※
リハビリテーション科 9:15~13:00 15:00~18:00	○	○	休	○	○	○	休※
医療脱毛 9:15~18:00 (予約制)	予約制	予約制	休	予約制	予約制	予約制	休※

※ 月曜日が祝日の場合、整形外科・リハビリテーション科・医療脱毛診察いたします。
◎※ 土曜日の整形外科診療時間は17:00までとなります。



曾野内科医院

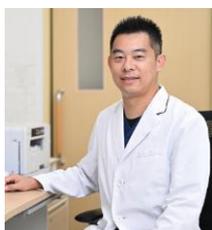
院長 曾野 浩治

[住所] ひたちなか市東大島
4-16-17
[電話] 029-273-5550



院長挨拶

大学病院、総合病院では消化器内科を専門に勤務していました。私がこれまでに培ってきた経験、知識や技術を生かして、正確な診断と適切な治療を地域の皆様に提供して参りたいと思います。
分かりやすく丁寧な説明をこころがけ、地域の皆様、ひとりひとりの症状に合った最適な医療を提案できる医院を目指し、スタッフとともに力を尽くしてまいります。
健康の悩み、病気についての疑問など、お気軽にご相談ください。



治療方針

- ・胃カメラ検査
当院では苦痛の少ない経鼻内視鏡を行っています。舌の根元に当たらないので吐き気(嘔吐反射)は少なく済みます。口がふさがらないので検査中に話ができます。鼻の奥が狭い方や口からの検査を希望される方は、口から挿入する検査(経口内視鏡検査)も可能です。
- ・大腸カメラ検査
大腸カメラは太さ11~13mm程度の細長く軟らかい内視鏡です。見た目としては、胃カメラよりもやや太くて長い形です。肛門から盲腸まで(内視鏡が約70~80cm入ります)の大腸内を挿入・観察するために、太さや硬さ、形状などが最適化されています。



アクセス
(公式ホームページ)

【診療科目】

一般内科
消化器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 9:00~12:00	○	○	○	▲	○	○	休
PM 2:00~6:00	○	○	○	休	○	休	休

※ 受付は診療時間の30分前まで ※▲ 木曜午前は予約検査のみ



診療科各科担当一覧表

2025年4月1日～

2025年4月15日 作成

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
循環器内科		*宇佐美 安部	*鈴木 伊藤 小泉(午後)	*安部 小泉	*横須賀 田畑	*田畑 宇佐美	毎週月曜日13:00よりペースメーカー外来 (予約制) 新患は紹介状持参のみ
呼吸器内科		山崎 *山岸	遠藤 *太田	沼田 *岡田	遠藤 *沼田 山岸	高橋 太田	金曜日は再診のみ 第1、3、5月曜日新患：山岸 第2、4月曜日新患：山崎
消化器内科		*伊藤 *小野田 *仲野谷	石田(予約) *下山田 *大菅根	山口(予約) 伊藤 秋山(予約)	鈴木(予約) 伊藤(予約)	石田(予約) *下山田 *安部	完全予約制 予約なしの新患は紹介状持参のみ 月・火 で対応可 検診等の要精密検査の場合は月・火・金で 対応可
血液内科			*米野 吉田(近)	*橋川 米野	*堤 *吉田(近)	*法岡 加村(午前) 堤(午後) 交代医	火～金は新患対応可能 交代医は予約患者のみ
神経内科		交代医	交代医	交代医	交代医	交代医	
神経内科		田代 法岡	井岡	田代(予約) 相澤	田代 法岡	田代 相澤	火曜日は再診のみ 水曜日の田代は完全予約制
精神科		志賀 非常勤①	志賀		志賀 非常勤②	非常勤③	完全予約制 再診のみ
小児科		全 面 休 診					
消化器外科		武藤 宮澤 伊瀬谷	加藤(丈) 福永	加藤(丈) 田部田(午前) 非常勤	福富 小林	米山 山本 福永(午後)	
乳腺外科		森 濱岡		森 植木(予約) 濱岡	橋本(予約)	森 濱岡(午後)	水曜日の植木は予約のみ 第1、3、5水曜日：濱岡 第2、4水曜日：植木 木曜日の橋本は午前中(予約のみ) 金曜日の森は第3金曜日は午前・予約のみ
臓器移植外科		全 面 休 診					
呼吸器外科			稲毛(予約)		中岡	中村(亮)	
心臓血管外科		佐久間		相馬		佐久間 相馬	血管疾患外来は毎週水曜日
整形外科		江藤 小林	小川 森田(午後) 濱崎 江藤(予約)	小川(午後) 大山(午前) 上原	能見 平林 小方 中山	小川(予約)	完全予約制(火曜日は脊椎、金曜日は手・ 肘・肩の完全予約制) 木曜日の小方は奇数週のみ、中山は偶数週 のみ診察
形成外科			佐々木 櫻井(優) 井出	松本 佐々木(予約)	佐々木 井出 櫻井(優)	交代制	水曜日の佐々木は乳房再建外来(予約制、 午後) 水曜日の松本は診察時間 14:00～15:00
リハビリ テーション科		小川	江藤	上原	江藤	小川	外来患者は直接行いません (整形外科に通院中の患者のみ) 入院患者の受付は毎日行います
脳神経外科		佐藤 交代制	中村(和) 交代制	加藤(徳) 阿久津 安田		加藤(徳) 根岸	安田は月1回第1水曜日に診察(脊髄疾患中 心)

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
皮膚科		小川			小川		予約のみ
泌尿器科		飯沼 市村 保田 青山	市村		飯沼 市村 保田 青山	飯沼 保田 青山	金曜日の青山は奇数週のみ診察 金曜日の保田は偶数週のみ診察
婦人科		全 面 休 診					
産科		全 面 休 診					
眼科		平塚 稲福	平塚 稲福	平塚 稲福	平塚 稲福	平塚 稲福	
耳鼻咽喉科		瀬成田 吉村	瀬成田 吉村	瀬成田 松永		吉村 河野	水曜日の午後は腫瘍外来のみ(予約制)
麻酔科		全 面 休 診					
歯科口腔外科		交代医	薬師寺(孝) 福本 高野	薬師寺(孝) 福本 高野	薬師寺(孝) 福本 高野	交代医	外来新患は火・木のみ(地域医療連携室利用不可) 入院新患者は月・金のみ 周術期外来は月・金で予約制
放射線治療科		大川	大川 馬場(午前)	大川 櫻井(英)(午後) 原田(午後)	大川	大川 大西(午前)	初・再診ともに完全予約制
代謝内科			高橋				入院患者のみ 受診の際は診察日前に連絡要 当日の受付9:00まで
腎臓内科						白井	新患不可・紹介患者不可
緩和ケア内科					小林		新患不可・紹介患者不可

注 * は新来患者を診察する医師

注 (予約) は再診の予約患者のみの診察

※ 診療日時については、変更となる場合がありますので、予めご承知ください。

※ 当院は全科予約制となっておりますが緊急患者・他院からの紹介患者が優先になりますのでご了承ください。

受付時間	8:30~11:00 再来受付機 7:30~11:00 〈予約の方は予約時間まで〉
診療時間	9:00~



〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280
国立病院機構 水戸医療センター
TEL. 029-240-7711 (代表)





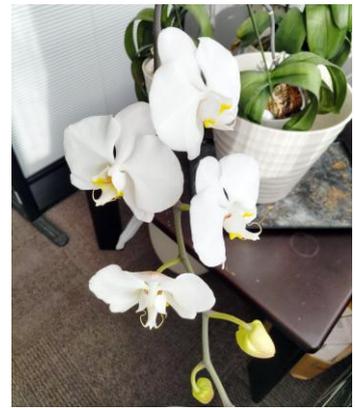
院長室の胡蝶蘭

院長 米野 琢哉

3年前院長に就任した際に、就任祝いの胡蝶蘭をいただいた。いくつかの鉢は看護部で面倒をもらい、看護部長室でいまま時々花を咲かせている。私の手元に残ったものは、自身で水やりや肥料などそれなりに世話していたつもりなのだが、少しずつ枯れてしまった。もともと植物の世話は得意というよりは下手な方で、自宅でもナスやピーマン、ミニトマトなど野菜作りをしていたのだが、小さい貧弱なものしか収穫できず、家人からは「買った方が安い」などと言われ、昨年は作ることを辞めてしまった。そんな私が世話した胡蝶蘭なのだが3つの株が生き残り、なんと3年ぶりに花芽が伸びてきて先日開花した。よくぞ生き残って花を咲かせてくれたと、花に感謝の毎日である。フラワーショップを経営している患者さんに伺ったところ、それは部屋の環境に順応したん

ですよ とのこと。生育環境の悪い院長室に順応した、我慢強い胡蝶蘭ということなのであろう。

胡蝶蘭には良い環境を提供できなかった3年間だったが、患者さん・ご家族には少しでもよい療養環境を提供できるように今後も職員と一丸となって取り組んでいきたい。



募集

非常勤事務助手（医師事務作業補助者）

事務業務から、医療に関わる。
貴方の能力を当院で発揮しませんか？

【職種】 非常勤事務助手

【期間】 採用日～年度末原則として年度更新を予定

【場所】 水戸医療センター

【業務】 書類作成、患者説明業務、データ入力、電子カルテ代行入力など

【資格】 簡単なExcel・Word（ワープロ入力は必須）

【時間】 8時30分(固定)～17時15分の間で6時間程度、週32時間、休憩30分～60分（規程に従う）勤務週5日

【休日】 土・日・祝、年末年始

【給与】 経験者（試用期間あり）

① 時間給 1,260円（外来業務経験有かつ有資格者）

※ 試用期間中は時間給 1,110円

② 時間給 1,210円（外来業務経験有または有資格者）

※ 試用期間中は時間給 1,110円

未経験者（試用期間なし）

時間給 1,110円 ※ 経験、資格等に応じて昇給あり

【待遇】 賞与年2回（74,400円／前年度実績）、交通費規定内支給、社会保険完備、制服貸与、育児介護休業取得実績あり、マイカー通勤可（駐車場あり）

応募方法

- ① 履歴書（様式自由） ※ 写真を必ず添付すること
 - ② 職務経歴書（任意）
- を当院採用担当宛郵送してください。書類選考通過者のみ今後の選考について連絡いたします。

連絡先

〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280番
水戸医療センター 採用担当宛

TEL：029-240-7711

※ その他職種についても募集あり！詳細は当院HPをご確認ください。